

# 全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会様

FUJITSU Cloud Service A5 for Microsoft Azure 上に構築し、  
圧倒的なパフォーマンス向上とコスト削減を実現

「以前は、ネットワークを含めて、基幹システムの維持に必要なコストが  
固定的にかかり、大きな負担になっていました。  
それが、A5 for Microsoft Azure上でシステムを再構築したことにより、  
コストは半分以下に削減されました」

小林 則夫氏  
全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会 会長



## 課題

- システム老朽化によるパフォーマンス低下と保守・運用コストの増大
- 拡張性の低いオンプレミスのシステム
- 電話連絡を中心とする効率の悪い配車、配送業務

## 効果

- 最新のクラウド採用によるパフォーマンスの向上とコスト削減
- 拡張性の高いクラウドの利用により、全国の組合への展開も容易に
- GPSとメールを利用した効率的な配車、配送の実現

## ソリューション

FUJITSU Cloud Service A5 for Microsoft Azure

## 選んだ理由

コストと開発の容易さ、富士通への信頼感

## 採用のポイント

将来の利用範囲拡大にも対応できる高い拡張性

## 概要

ちょっとした荷物を運ぶのに手軽に利用できる「赤帽」。その組織は、じつは農協や漁協のような協同組合です。全国にある44の協同組合を管轄する全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会様は、各組合向けに基幹システムを開発・提供していますが、システムの老朽化に対応するため、FUJITSU Cloud Service A5 for Microsoft Azure（以下、A5 for Microsoft Azure）を利用してシステムを刷新し、GPSを活用した効率的な配車、パフォーマンスの向上、コスト削減を実現しました。

基幹システム老朽化による保守・運用の負荷増大とパフォーマンス低下が課題に

赤帽様は、軽自動車の貨物トラックで、さまざまな荷物を運ぶビジネスを展開している協同組合組織です。配送を担当するのは、それぞれが個人事業主になります。全国の組合を束ねる全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会（以下、連合会）の会長である小林則夫氏は、次のように説明します。

「赤帽は、今年、2015年で誕生から40周年

を迎えます。現在、全国各都道府県に44の協同組合があり、約180か所の組合本部、支部、営業所等の拠点で、1万人の組合員が、貨物軽自動車の機動力を活かした『運送のコンビニ』として活躍しています」（小林氏）

各組合は独立性が高く、システムを独自開発している組合も多いといいます。しかし、各システムはほぼ同一の機能を持ち、開発・構築・運用に係るコスト、工数の無駄を削減するため、連合会が標準化したシステムを開発・構築し、全国の組合に展開してきました。



**小林 則夫氏** (写真中央)  
全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会  
赤帽首都圏軽自動車運送協同組合 会長  
(写真右より)  
**中井 敬二氏** 首都圏 総務部情報システム課  
**鳥居 忠一郎** 首都圏 経理担当理事  
**桐谷 浩一氏** 連合会 総務部情報システム課 課長  
**本木 英朗氏** 連合会 副会長 首都圏 理事長  
**齋木 正雄氏** 日本システム技術株式会社  
東日本ソフトウェア事業部  
ビジネスソリューション部 一課 主事

**会社概要 全国赤帽軽自動車運送協同組合連合会 様**  
所在地 | 東京都台東区浅草橋3-8-5 VORT浅草橋3F  
会長 | 小林 則夫  
設立 | 1978年8月  
組合員数 | 約10,000名  
事業内容 | 貨物自動車運送取扱事業  
URL | <http://www.akabou.jp/>

「2003年4月に全国基幹ネットワークを構築し、配車システムや販売管理・組合員管理システムなどで構成される『ACEシステム』と呼ぶ基幹システムを開発・構築し、各組合に提供してきました。ただし、このシステムが老朽化し、保守・運用の負荷増大、パフォーマンス低下が課題になっていたのです」(小林氏)

### A5 for Microsoft Azure上を選定し、基幹システムをクラウド上に構築

こうした状況の中、システム改善に着手したのが、東京、埼玉、千葉、神奈川の約3500名で構成される赤帽首都圏軽自動車運送協同組合様(以下、首都圏組合)でした。

「首都圏組合はACEシステムを使っていましたが、2008年ころからGPSを活用した配車システムを検討していました。それとほぼ同じタイミングで、連合会側でもACEシステムの老朽化が問題になっていましたので、それであれば首都圏組合で新しいシステムを開発して全国に広げようということになったのです」(本木氏)

こうして、首都圏組合で新ACEシステムの検討が本格的にスタート。ベンダー5社による提案を検討した結果、A5 for Microsoft Azureを利用した日本システム技術株式会社の案が採

用されました。ただし、当初は基幹システムとクラウドとの組み合わせを不安視する声もありました。

「確かにセキュリティの不安はありました。しかし、オンプレミスだとICT部門が自らの責任でセキュリティを守らなければならず、大きな負担になります。一方、A5 for Microsoft Azureであれば、最新のセキュリティ設備の整備された堅牢な国内データセンターでシステムが保護されますので、むしろセキュリティは高まる判断しました。さらに、全国展開する計画もありましたので、高い拡張性も併せ持つ富士通のA5 for Microsoft Azureを選択したのです」(中井氏)

こうして、首都圏組合では、日本システム技術と協力してシステムを開発。2014年8月、新しい基幹システム「新ACEシステム」が稼働を開始しました。

### GPSによる効率的な配車とパフォーマンス向上、コスト削減を実現

新ACEシステムは、配車システムおよび制服などの物品販売管理、組合員管理等、複数のシステムから構成されています。このうち、配車システムのサブシステムとして開発されたのが

GPS配車システムであり、これによって、首都圏組合では、約1600台の赤帽車に対してGPS活用による効率的な配車が可能になりました。

「従来は組合員が配送センターに来所していましたが、新ACEシステム、およびGPS配車システム稼働後は、その必要はなくなりました。組合員が空車待機すると、お客様から最も近い組合員を配送センター側が見つけ、配車依頼メールを送ります。受け取った組合員は、お客様先まで荷物を取りに行き、出発時に出発メール、荷物を届けたら完了メールを送ります。すると、走行距離や運賃が計算され、自動的に精算処理されます」(鳥居氏)

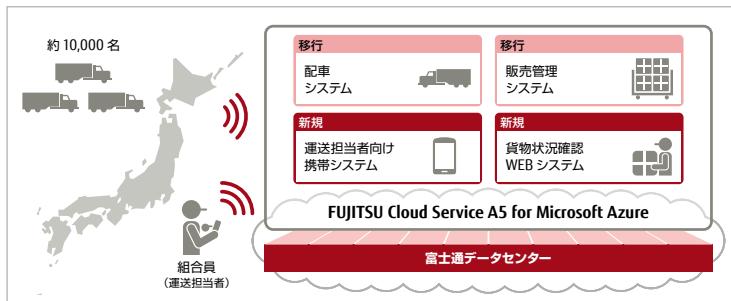
また、お客様からの配送依頼や組合員からの連絡を受け付ける職員側の負担も軽減され、システム維持にかかるコストも大幅に削減できました。

「新ACEシステムはメール連絡が使いやすくなつたため、業務が大幅に効率化され、お客様の受注業務に重きを置けるようになりました。また、パフォーマンスが向上し、職員のストレスも大幅に軽減されました」(桐谷氏)

「ネットワークやサーバなどの維持コストが不要になったのは非常に大きいメリットです。システム維持にかかるトータルコストは従来の半分以下になりました」(小林氏)

首都圏組合で開発された新ACEシステムは他の組合にも徐々に浸透し、現在、準備中も含めると、44の組合のうち13の組合(拠点数は21)で利用されています。

「連合会としては、各組合の要望・状況に応じて新ACEシステムを積極的に展開していく予定です。全国の組合で同じシステムが導入されれば、組合間の連携もとりやすくなります。新ACEシステムはA5 for Microsoft Azure上に構築されているため、全国の組合が移行しても、拡張性はまったく心配していません」(桐谷氏)



(注) 本事例中に記載の肩書きや数値、固有名詞等は取材当時のものです。(取材日: 2015年8月)  
また、改善などのため予告なしに変更する場合がありますのでご了承ください。

2015年10月

### 製品・サービスについてのお問い合わせは

**富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200**

受付時間 9:00~17:30 (土・日・祝日・年末年始を除く)

**富士通株式会社** 〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター